

令和2年の自殺者の特徴を踏まえた対応に関する委員からの事前質問・意見への回答

No.	委員名	該当資料 該当箇所	分類	内容	回答	担当課
1	佐藤博委員	資料1 1ページ No.1 高齢男性に向けた自死に関連する相談窓口の広報	意見	施策の効果検証について NO.1に「新聞等に相談窓口情報を掲載する」といった取組になっているかと思えます。この取組の場合、実際に相談窓口を訪れた際に「どの新聞からこの相談窓口情報を知ったのか」という聴取等を行えば効果検証になり、次年度以降の取組にも活かせるのではと思いました。	・ご意見ありがとうございます。令和5年度取組みに参考とさせていただきます。	障害者支援課
2	菅原由美委員	資料1 1ページ かかりつけ医等こころの健康対応向上研修	質問	具体的内容に実績についての記載がないものについては、説明時に報告をお願いします。 ・3月11日 ハイブリッド研修の参加者	・3月11日に開催したかかりつけ医等こころの健康対応向上研修会の参加者は以下の通りです。 (現地参加申込 15名、オンデマンド申込 35名)	障害者支援課
3	菅原由美委員	資料1 1ページ 高齢男性に対応する支援機関職員向け支援ガイドブックの作成	質問	具体的内容に実績についての記載がないものについては、説明時に報告をお願いします。 ・作成、配布予定となっておりますが、進捗状況は？	・3月初旬に印刷発行し、3月末までに地域包括支援センター等の高齢者に対応する相談窓口（約180箇所）に3部ずつに配付する予定としております。	障害者支援課
4	菅原由美委員	資料1 2ページ 災害時メンタルヘルス研修	質問	具体的内容に実績についての記載がないものについては、説明時に報告をお願いします。 ・オンデマンド配信期間中の参加者数	・参加申込 60名（32機関）です。	精神保健福祉総合センター
5	菅原由美委員	資料1 3ページ 若年女性に対応する支援機関職員向け支援ガイドブックの作成	質問	具体的内容に実績についての記載がないものについては、説明時に報告をお願いします。 ・作成、配布予定となっておりますが、進捗状況は？	・3月初旬に印刷発行し、3月末までに市内大学学生相談担当課やエルソーラ仙台等の若年者に対応する相談窓口（約150箇所）に3部ずつに配付する予定としております。	障害者支援課
6	菅原由美委員	資料1 4ページ SNSを活用したゲートキーパー研修	質問	具体的内容に実績についての記載がないものについては、説明時に報告をお願いします。 ・実績	・再生回数238回（令和5年3月14日現在）です。	精神保健福祉総合センター
7	菅原由美委員	資料1 4ページ 自殺対策専門職研修	質問	具体的内容に実績についての記載がないものについては、説明時に報告をお願いします。 ・オンデマンド配信期間中の参加者数	・参加申し込み 146名（70機関）です。	精神保健福祉総合センター
8	菅原由美委員	資料1 4ページ 仙台的のち支えるLINE相談	質問	具体的内容に実績についての記載がないものについては、説明時に報告をお願いします。 ・3月に毎日窓口を開設して、例年と比較して利用者の推移は？	・3月13日時点の相談件数は58件で、1日あたりの相談件数は4.5人になっています。 ・日曜月曜祝日祝翌日のみ開設していた2月までの1日あたりの相談件数は、4.6件であり、大幅な増加は見られてはいません。	障害者支援課
9	鈴木琴似委員	資料1 5ページ No.11 困難を抱える女性への支援事業（アウトリーチ型相談支援） 資料1 9ページ No.7 困難を抱える女性への支援事業（アウトリーチ型相談支援）	質問	困難を抱える女性への支援事業について どういった予算がついているのか詳細をお聞きしたい。市民の皆様にはパブリックコメントを募集する際に、事業に対して透明性が求められることだと思う。その他の委託事業やおおまかな自殺対策の費用についても予算や概要を公開してほしい。それにより、仙台市が重点対象としている事業や支援の在り方が見えてくるのではないかと。	・困難を抱える女性への支援事業（アウトリーチ型相談支援）の令和5年度予算額は570万円です。令和4年度の年央より新規に始めた事業（令和4年度予算額：300万円）を令和5年度通年化するための金額として予算措置されました。	男女共同参画課

10	菅原由美委員	資料1 6ページ No.2 自殺予防週間や自殺対策強化月間における普及啓発活動の実施 資料1 8ページ No.4 自殺予防週間や自殺対策強化月間における普及啓発活動の実施	意見	うつ病の原因の一つとして、睡眠障害（不眠）があるかと考えます。そのような場合、市販の睡眠導入剤を求める方も多いのではないかと思いますので、コンビニエンスストアだけではなく、薬局やドラッグストアにポスターやリーフレットの配布を検討してはいかがでしょうか。	・コンビニエンスストアでの普及啓発活動につきましては、高齢男性、若年女性も多く利用しているということと、既に他事業での取り組みで関係構築ができており、実現可能性が高いということがありました。薬局やドラッグストアでの普及啓発など、精神的な不調のある方に焦点を当てた取り組みを含め、普及啓発活動の拡大が必要であると考えます。今後の普及啓発活動をすすめていく上で、ご意見を参考にさせていただきます。	宮城野区障害高齢課
----	--------	--	----	--	--	-----------